

# 授業のポイント

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うために、「考え、議論する道徳」の授業を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることが大切です。

次の4つのポイントを意識して、「考え、議論する道徳」の授業を構想しました。

- |                                     |                                       |
|-------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="radio"/> 問題意識を持たせる     | <input type="radio"/> 自分との関わりで考えさせる   |
| <input type="radio"/> 多面的・多角的に考えさせる | <input type="radio"/> 自己の生き方について考えさせる |

## 小学校6年生 C-(12)規則の尊重 「星野君の二るい打」のポイント

<ねらい> よりよい集団生活を送るために、自分に課せられた義務をしっかりと果たそうとする道徳的実践意欲と態度を育てる。

導入

道徳的価値の理解を基に・・・

### ① <問題意識を持たせる>

- ・今年度は小学校生活最後の1年だということを想起させ、本時の課題に対して問題意識を持たせる。

(発問)  良いクラスにしていけるために、あなたはどんなことができますか。

### ② <自分との関わりで考えさせる>

- ・自分がもしこのチームにいたら、どうするかを「バントをする」「打ちに行く」「選ぶことができない」から選ばせ、自分との関わりで考えさせる。

(発問)  あなただったらバントをしますか、打ちに行きますか。

### ③ <多面的・多角的に考えさせる>

- ・ルールを守ることの理由を一時的な良さだけではなく、その後どんな結果につながっていくのかを考えさせる。

(中心的な発問)  二人とも目標を達成できたのに、なぜ監督は次の試合で星野君を控えにしたのですか。

- ・自分の選んだ行動の悪い点も考えさせることで、多面的・多角的に捉えさせる。

### ④ <自己の生き方について考えさせる>

- ・よりよい集団生活を送るために大切なことについて書かせることで、自分の生活を振り返り、自己の生き方についての考えを深めさせる。

展開

終末